

(2)平成 14 年 越冬面の性状把握のためのボーリング、透水試験等

1)下流面ボーリング調査

下流面の越冬継目 EL.342 の性状を把握するために、図 2.4 に示す位置で水平ボーリング 4 孔を削孔し、水押し試験、ボアホールスキャナーを実施した。下流面ボーリング結果整理図を図 2.5～8 に示す。

ボーリングコアおよびスキャナーの観察結果から、下流面の越冬面については、堤体表面から約 3m 程度に分離した割れ目が存在し、水ミチとなっているものと考えられる。これより深い内部コンクリート部については、挟在物が認められずスキャナーにより分離が確認できないことから、水ミチとして関与していない可能性が高い。

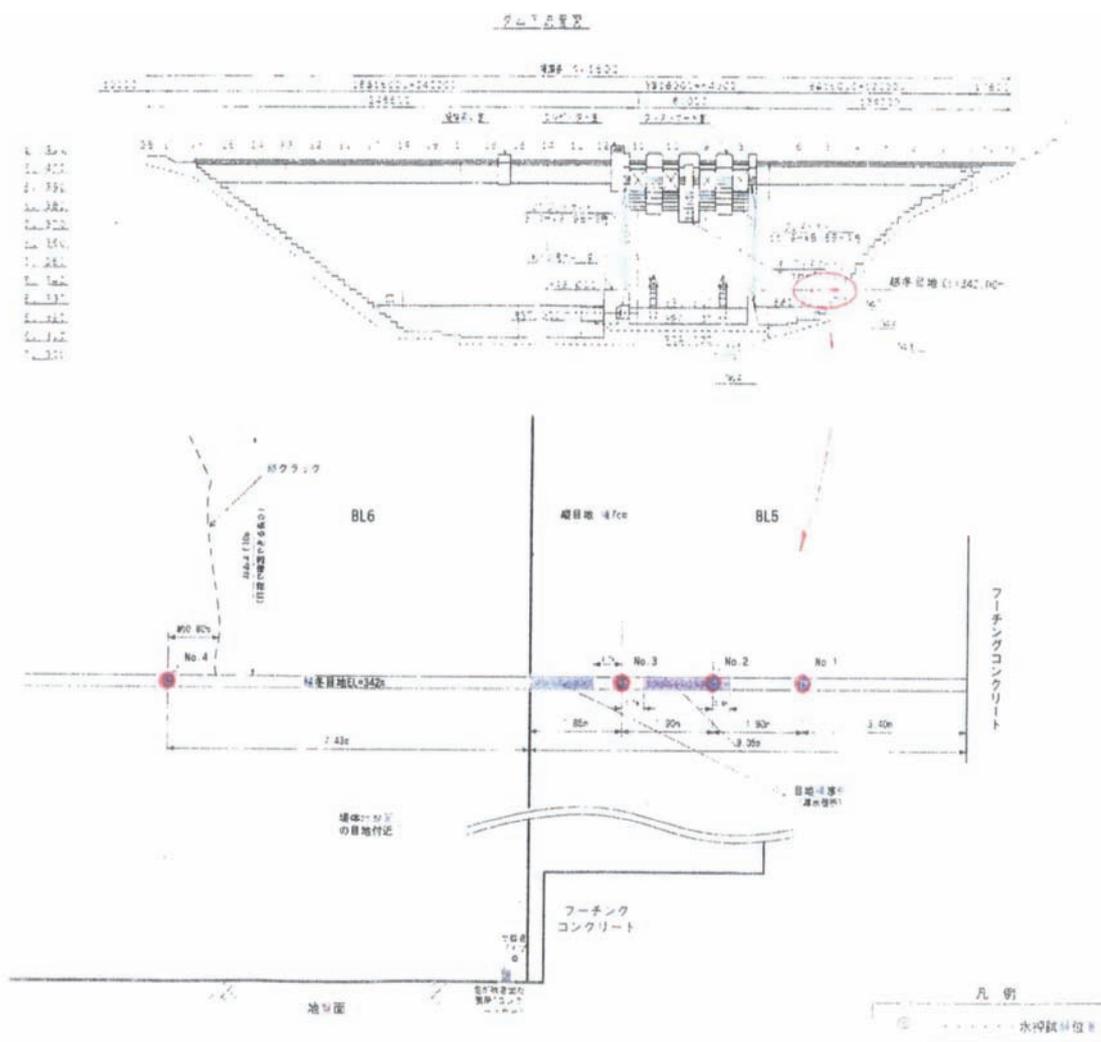


図 2.4 H14 下流面ボーリング位置図

